

一宮公民館でプログラミング教室（2回目）を開催

私たちはiC課題探究αで「小学生に最適なプログラミング教育形態」というテーマで研究をしている2年生です。その研究活動の一環として、12月17日（土）に一宮公民館で地域の小学生を対象に「小学生対象プログラミング教室」という講座を行いました。この講座は9月に一宮公民館で1回目を行っており今回が2回目となります。

1回目の授業では小学生にぜひ伝えたいことを含めることができなかったため、2回目の授業ではプログラミングの身近さなどの説明を組み込むなどの改善を行いました。そして、1回目の授業を行った際に対話が大切だということが分かったため、2回目の授業ではその点をより注意して積極的に小学生とコミュニケーションを取りました。

2回目の講座ということもあり、緊張などすることなくリラックスして授業を実施することができましたが、2回目は1回目と違い小学校低学年の子どもたちが対象だったことから、説明して理解してもらうことの難しさや、子どもたちの集中力が切れた際に、もう一度集中させることの大変さを学ぶことができました。また、小学生と触れ合うことで教えることの楽しさも学ぶことができました。

実際に授業をやってみて、説明を工夫しないと伝わらないと感じる場面でも例えを交えながら丁寧に説明をしてあげたらすぐに理解してもらえたので、小学生に授業を行う際には例えを上手く活用することが大切なのだとわかりました。また、授業の内容から関心がそれた時は、身近なプログラミングの話をしてあげることで授業に興味を持ってもらえるように工夫しました。改めて、小学生と共に勉強し学ぶことが楽しいと感じることができたので、この経験を教師という夢に生かすことができたらなと思いました。

自分たちが小学生のときにプログラミングの授業を受けてこなかったため、小学生がどのような反応をするのか不安でしたが、無事にプログラミングに興味を持ってもらえ、お互いにとって実りのある授業を実施することができたと感じました。

